

コンクリート締固め検知システム ジューテンダー CIFD-4

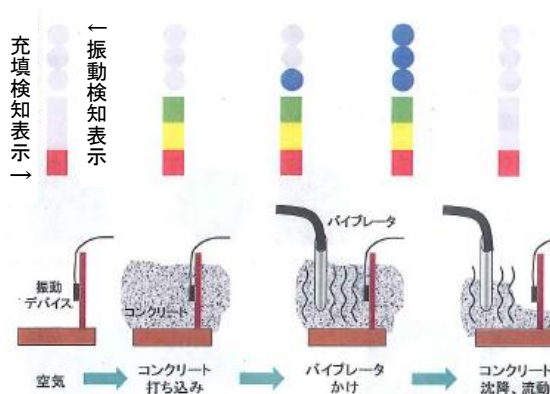
特 徴



コンクリート充填検知に加え、バイブレータによる振動締固めの確認が行え、コンクリート打設の品質向上が可能です。

- ◆振動デバイス(センサ)を取り付けることで型枠内等の見えない部分や、鉄筋や鋼材が過密に設置された構造物の生コンの締固め状況／充填状況を最大16箇所リアルタイムで検知します。
- ◆振動デバイスは表面を微小に振動させています。振動パターンは接触する物により電圧値と周波数が変化します。これを利用してコンクリート、不完全な充填(ブリーディング水)、空気を確実に識別し、それぞれを色で液晶画面に表示します。
- ◆コンクリート中を伝播してくる振動加速度を測定して、締固めの程度の判定を行い、設定した振動レベルを超えた場合、●印で画面に表示します。所定の時間(5~20秒で設定)バイブレータの振動を検知すると締固め完了表示(●●●)となります。

- ◆校正用のセンサや校正コンクリートは必要ありません。
- ◆振動デバイスのケーブルは最長50mまで延長可能なため、高所や離れた場所でも検知可能です。
- ◆データは400件保存でき、パソコンへの出力が可能です。(CSV形式及び判定イメージ)



振動検知は予め設定された強さと時間を超えて検知されると画面に●を表示します。振動検知後、充填状況が変化(コンクリートから空気や不完全な充填状況に変化)すると●表示は解除されます。コンクリートの充填を検知して初めて振動を検知しますので、振動デバイスが充填表示された後に締固め用のバイブレータを掛けることをお勧めします。

仕 様

検 知 方 式	振動デバイスによる周波数特性検出方式
識 別 能 力	空気、水、コンクリート(モルタル、各種グラウト)
締固め振動検知範囲	9.8m/S ² ~98.1m/S ² ※参考値 振動デバイスへのコンクリートの接触状況により変化します。
測 定 点 数	16 c h
表 示 方 法	LCDモニターによるカラー表示
計 測 時 間	1 c h 当たり約 0.5~2.2 秒で計測(測定点数による)
記 録 点 数	400 点
使用温湿度範囲	0~40℃ 5~85%RH(結露しない事)
大 き さ ・ 重 さ	本 体 : 約 280(W)×200(D)×110(H) mm 約 2.8Kg *突起部を除く ターミナルボックス: 約 240(W)×140(D)×60(H)mm 約 1Kg *突起部を除く 振動デバイス 17mm 角 厚さ 5mm
電 源	AC100V (ACアダプターによる)
付 属 品	ターミナルボックス接続ケーブル、電源ケーブル、パソコン接続ケーブル USB変換ケーブル、データ転送ソフト、取扱説明書 【販売消耗品】振動デバイス(ケーブル長 20m/5mご指定下さい) 延長ケーブル 200m

※ 対応OS Win XP SP3(32ビット日本語版)、Vista SP1 及び SP2(32ビット日本語版)

Microsoft Excel2003 以降がインストールされていること

(メーカー動作保証はしていませんが、Win XP SP2 で Excel2000、WIN 7 SP1 で Excel2010 の動作確認はできています)